



施策コード	3-3
-------	-----

中心所管課	環境清掃課
関連所管課	下水道課

第3章	豊かな自然とともに安心して住み続けられるまちづくり -安全・安心-							
基本施策名	3 環境保全・生活衛生							
総合計画の目標指標								
指標名	単位	策定時	実績値			目標値		SDGs独自指標
		R2	R3	R4	R7	R12		
公害等相談対応件数	件	417	338	322	460	500		
530 運動実践活動参加者数	人	16,009	9,145	12,235	16,500	17,000		
生活排水処理率	%	75.6	76.0	77.5	89.9	95.0		
海岸漂着物回収・処理量	kg	14,150	46,590	16,190	28,250	40,000		

施策の内容(主な取組)		
単位施策名	実績・成果	今後の方向
1 公害防止対策の推進と不良な生活環境の解消	市民等から寄せられた苦情等に対して、県や市役所関係部署と連携を図りながら、現場に向き状況を把握し、原因者に対して行政指導を行うとともに、苦情等申立者へ状況を伝える。	公害苦情等事案の解決に向けて、今後も県等の関係機関と連携・協力しながら、迅速かつ的確に対応していく。
2 環境美化活動の推進と動物愛護精神の高揚	通年で530運動実践活動の支援、推進を図るとともに、クリーンキャンペーン月間(5月、9月)、まちなみクリーンアップ作戦を実施した。また、動物愛護精神の高揚に向け、狂犬病予防協会・市獣医師会の共催により長寿動物飼育者表彰等事業を行い啓発に取り組んだ。	引き続き市内の環境美化と530運動実施を呼びかけるとともに、動物愛護精神の高揚に向けた周知・啓発を実施する。
3 三河湾浄化対策の推進と環境再生	市民の三河湾環境再生に対する意識の高揚を図るため市内2箇所のスーパーにて啓発グッズの配布を実施した。また、合併浄化槽転換推進のため、浄化槽清掃業者を通じて市民へ転換チラシ配布を実施した。	三河湾水質浄化のため、環境への汚濁負荷を抑えた合併処理浄化槽への転換を促進する。
4 生物多様性の確保と環境学習・環境教育の推進	里山自然観察会としてさがらの森にて自然観察会を実施した。森と海の環境講演会として、竹島小学校にてタレントの鉄崎幹人氏による講演会を実施した。	愛知県の補助金を活用した里山自然観察会及び森と海の環境講演会を継続するとともに、広域団体によるイベントにも積極的に関与し協力する。

個別計画の目標指標								
計画名	蒲郡市生活排水処理計画				計画期間	平成27年度～令和12年度		
指標名	単位	策定時	実績値				目標値	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R12
生活排水処理率	%	76.0	76.7	77.6			85.5	95.0

主要事業の実績評価					
施策番号	事業名	事業費(千円)		実績(R4年度)	今後の方向
		R4(決算額)	R5(予算額)		
		人工			
1	交通騒音調査	0	0	年1回市内6カ所の騒音を調査	職員による騒音調査を継続する。
2	530運動実施活動	695	700	年間を通じた活動(131団体実施)のほかクリーンキャンペーン月間(5月、9月)、まちなみクリーンアップ作戦を実施した。	これまでの事業を継続して実施する。
3	合併処理浄化槽転換設置等整備事業補助金	1,430	6,330	補助金申請 3件	補助制度の周知・活用を図り、合併処理浄化槽への転換を促進する。
3	三河湾環境再生店頭啓発	22	50	市内スーパー2店舗にて店頭啓発を実施	コロナで縮小して実施しているが、コロナ前の実施状況を目指す。
3	アオサ・海岸漂着物回収運搬等委託業務	7,596	7,600	漂着ゴミ16,190kg回収	事業を継続し、海岸における景観と海洋環境の保全に努める。
4	里山自然観察会	81	99	大人11名、子供12名参加	定員30名で継続して実施する。
4	森と海の環境講演会	100	100	竹島小学校生徒55名参加	事業を継続し、次世代を担う子どもたちを育てる。

総括評価	成果	自然環境を維持していくことの大切さをPRするとともに、清掃活動によって環境美化を推進することができた。
	課題	市民の環境美化意識は全体的には向上していると思われるが、関心のない世代へのアプローチをどうおこなっていくかを検討していく必要がある。
	今後の方向	クリーンキャンペーン等の活動を通じて、より一層の環境美化を推進していく。また、環境学習によって自然環境の保全についてPRしていく。